

わが学び舎 松高小



八代市立松高小学校
学校だより
NO. 10
令和4年11月18日
文責 校長 入佐正夫

6年生学び多き長崎への修学旅行でした！！



11月6日(日)、7日(月)の1泊2日の日程で、長崎方面へ修学旅行に行ってきました。午後の時間帯を活用し、修学旅行の一番の目的である平和学習を原爆が投下された長崎市の現地で行いました。そして、平和祈念公園の平和集会では、平和の祈りを捧げるとともに6年生一人一人が思いを込めて折った千羽鶴を献納しました。その後、グループに分かれて山里小学校・如己堂・浦上天主堂・原爆投下中心地を現地のガイドさんの説明を受けながら巡るフィールドワークを行いました。また、1日目の最後に長崎原爆資料館を見学し、6年生全員が戦争のない平和な世の中が、いかに大切なことか自分自身の目で見て、耳で聴いて、心で感じることができました。これから

松高小の6年生が平和の担い手として将来の日本を導いてくれる人になってくれることでしょう。心からそのように願っています。

2日目は、佐世保市へ移動しハウステンボスでのグループ行動を行いハウステンボス内の施設・店舗・アトラクションを巡りながらたくさんの楽しい思い出をつくることができました。

この1泊2日の修学旅行を通して、学んだこと・経験したことを卒業までの4ヶ月あまりとなったこの松高小学校での学校生活にしっかりと活かして欲しいと思います。



「オペラ 森は生きている」・・・芸術鑑賞を行いました。



11月15日(火)、16日(水)の2日間にわたりオペラシアターこんにゃく座による「オペラ 森は生きている」の公演が本校体育館にて行われました。コロナ禍であり、全校児童全員が一堂に集まって鑑賞することができませんので、15日(火)午前に低学年、16日(水)の午前に中学年、午後に高学年と分かれて芸術鑑賞を開催しました。

これは、令和4年度文化芸術による子供育成推進事業の一環として開催されたもので、一流の文化芸術団体が、小中学校において公演し、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。今回、松高小学校で「オペラ 森は生きている」を観ることができたことは、子供たちにとって大きな心の財産になったものと思います。そして、オペラの内容から「善悪や優しさ、思いやり」について考えることができたと思います。子供たちは、役者さんが表現し、作り出す一つ一つの場面、動き、せりふを身を乗り出す感じで体感していました。この経験は、すべての子供たちの心にしっかりと刻み込まれたものと思います。観て感じて想像することこそが「情操教育」そのものであり、感性を豊かにすることになります。バーチャルやVR、アバターといった仮想空間・仮想現実・分身が映像等で進化している今の時代だからこそ、本当に大切にしなければならないのはこのような力だといえます。

また、ゲームやテレビ、映画などでは感じることでできない役者さんの生の声や息づかいを間近で感じることで子供たちは、またとない経験ができたと思います。

日没が早くなっています。夕暮れの時間帯は特に気をつけましょう。

先日、暦の上では「立冬」を迎えました。季節も秋から冬にこれから急ぎ足で変わっていきます。特に夕暮れが早くなってきました。12月の冬至に向かい、さらに日没が早くなりますので夕方は、薄暗い感じから急に暗くなります。これから2月までは、午後5時までには家に帰り着くようにしてください。(松高小のくらしのきまりより)

そして、薄暗い時間帯では特に車や自転車などにも十分注意して欲しいと思います。交通安全には、日頃から指導を行っておりますが、登下校の歩き方、自転車の乗り方、家に帰宅してからの過ごし方も含めてご家庭でも繰り返し子供たちにお話いただきますようお願いいたします。

